

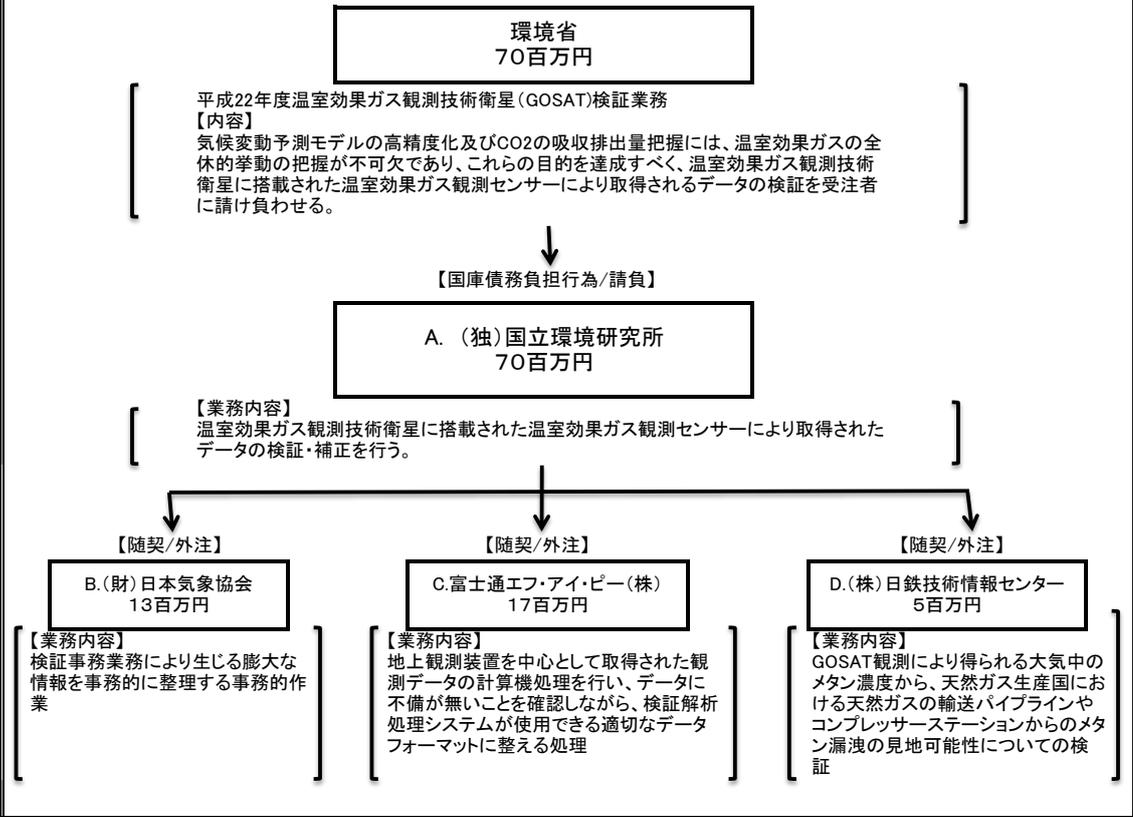
行政事業レビューシート (環境省)

事業名	衛星搭載用観測研究機器製作費		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度・平成22年度		担当課室	総務課研究調査室		室長 松澤 裕		
会計区分	一般会計		施策名	9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	気候変動予測モデルの高精度化及びCO2の吸収排出量把握には、温室効果ガスの全球的挙動の把握が不可欠である。本事業では、これらの目的を達成すべく、温室効果ガス観測技術衛星いぶき(GOSAT:Greenhouse gases Observing SATellite)に搭載する高精度な温室効果ガスセンサーの検証を行うものである。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	GOSATプロジェクトは環境省、国立環境研究所、宇宙航空研究開発機構の三者共同プロジェクトである。環境省は温室効果ガスの全球的挙動を把握するためのセンサーの開発、検証を行うこととなっており、平成21年1月の打ち上げ後は受信したデータの検証を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	300	180	70	-	-	
	執行額	300	180	70	-	-		
	執行率(%)	100%	100%	100%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	GOSATプロジェクトの成果、ただし達成度を定量的に評価するのは困難		成果実績	-	開発完了 衛星打ち上げ	レベル1、2 データ公開	レベル3 データ公開	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	文部科学省宇宙開発委員会におけるサクセスクライテリア達成状況		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	サクセスクライ テリア達成	-
				-	-	(-)	(-)	
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	単位当たりのコストを算出することは困難				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業により取得、検証されたデータは一般に公開され、各種研究の基礎データとして活用されており、一定の成果を得ている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>本事業については、温室効果ガス観測技術衛星いぶき(GOSAT:Greenhouse gases Observing SATellite)に搭載する高精度な温室効果ガスセンサーを開発、衛星に搭載、打ち上げることに成功。また、受信したデータの検証体制を構築し、信頼性の高いデータの提供を開始するという所期の目的が達成されたため、廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成22年度限りで廃止とする。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(独)国立環境研究所			C.富士通エフ・アイ・ピー(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	温室効果ガス観測センサーのデータ検証	19	雑役務費		17
	諸謝金	GOSATサイエンス会合謝金	1			
	旅費	国内旅費、外国旅費、委員等旅費	4			
	消耗品		1			
	雑役務費	データ加工、データベース作成等	2			
	外注費	(財)日本気象協会、富士通エフ・アイ・ピー(株)、(株)日鉄技術情報セン	35			
	その他	一般管理費、消費税等	8			
	計		70	計		17
	B.(財)日本気象協会			D.(株)日鉄技術情報センター		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費		13	雑役務費		5
	計		13	計		5

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	温室効果ガス観測技術衛星に搭載された温室効果ガス観測センサーにより取得されたデータの検証・補正を行う。	70	随意契約 (国庫債務 負担行為)	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本気象協会	検証事務業務により生じる膨大な情報を事務的に整理する事務的作	13	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー (株)	地上観測装置を中心として取得された観測データの計算機処理を行い、データに不備が無いことを確認しながら、検証解析処理システムが使用できる適切なデータフォーマットに整える処理	17	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日鉄技術情報センター	GOSAT観測により得られる大気中のメタン濃度から、天然ガス生産国における天然ガスの輸送パイプラインやコンプレッサーステーションからのメタン漏洩の検知可能性についての検証	5	随意契約	—